Webプログラミング及び演習最終課題

K19093　福本光重

* 設計のコンセプト

Node.jsを用いた、プロ野球選手データベースを作成した。好きな選手のデータの登録、削除、更新が自由に行えるシステムとなっている。データの内容としては、名前、年齢、守備位置、出身地の４点である。また、選手名での検索と、守備位置ごとの検索が可能な機能を付けた。

* データベースの仕様

テーブル名：Player

テーブル

自動的に生成された説明

名前 データ型 長さ インデックス A\_I

id INTEGER PRIMARY On

userId INTEGER

name VARCHAR 255

age INTEGER

position VARCHAR 255

hometown VARCHAR 255

createdAt DATETIME

updatedAt DATETIME

* 画面遷移図と動作概要
* ログイン画面

アカウント作成後、アカウントのIDとパスワードを入力してログインできる

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

* 選手データ確認画面（トップ画面）

選手データ確認画面はログイン後に表示されるトップ画面となっている。playerテーブルに登録されている要素を取り出し、テーブル形式で表示している。

また、「選手データ追加」でデータ追加画面へ遷移、「全選手表示」で全データを表示する。

検索方法が３種類あり、選手名で検索する方法、守備位置を選択して検索する方法、出身地を選択して検索する方法がある。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テーブル, Excel

自動的に生成された説明

* 選手データ追加画面

「名前」「年齢」「守備位置」「出身地」を入力して、送信ボタンを押すと追加することができる。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

中程度の精度で自動的に生成された説明

また、守備位置と出身地はプルダウンメニューとなっており、選択肢は決められている。

アイコン

中程度の精度で自動的に生成された説明四角形 が含まれている画像

自動的に生成された説明

* 選手データ更新画面

初期値として、追加画面で入力した内容が表示される。変更したい項目を入力して、更新ボタンを押すと、更新することができる。

グラフィカル ユーザー インターフェイス

低い精度で自動的に生成された説明

* 選手データ削除画面

選択した、選手データの項目が表示される。削除ボタンを押せば、削除することができる。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

* 選手名で検索

選手名を部分一致で抽出する。例：「高橋」と入力。

結果↓

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テーブル

中程度の精度で自動的に生成された説明

* 守備位置で検索

例：「内野手」で検索

テーブル

自動的に生成された説明

* 出身地で検索

例：「愛知県」で検索

テーブル

自動的に生成された説明

* 工夫点

工夫点は、検索機能を実装したことである。ユーザーIDと一致していてかつ、抽出条件が揃っているレコードを抽出するプログラムが難しかった。また、複数の検索機能を両立させるのに苦労したため、実装できたことに満足している。

* 反省点

年齢によるソート機能を付けたかった。また、bootstrapの基本的なデザインしか利用できなかったため、もう少し凝ったデザインにしたかった。